

政策番号	22	政策分野	景観
------	----	------	----

基本方針	京都の個性や魅力の源は、歴史や文化であり、そしてそれらを表象する美しい景観である。この優れた京都の景観を守り、育て、つくり、そしてこれらを生かしていくことにより、日本を代表する歴史都市・京都の魅力や価値を高め、50年後、100年後も京都が京都であり続けるため、市民と行政との協働により、時を超え光り輝く京都の景観づくりを推進していく。
------	---

担当局	都市計画局	共管局	建設局
-----	-------	-----	-----

政策に関係する 主な分野別計画等	京都市景観計画、京都市三山森林景観保全・再生ガイドライン、 京都市歴史的風致維持向上計画、 京都市京町家保全・継承推進計画、京（みやこ）の道デザイン指針、 京都市歴史的風致維持向上計画
---------------------	---

政策の評価

1 客観指標評価

政策の客観指標評価		平成23 評価値	令和2 目標値	平成 30	令和 元	令和2年度評価				
						前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1	三山森林景観保全・再生ガイドラインに基づく森林整備面積(ha)	14.18	600.0	a	a	550.4	610.7	540	113.1%	a
2	景観に関する適合証の交付率(%)	52.3	100.0	c	c	58.9	58.9	100	58.9%	c
3	屋外広告物等に係る許可件数(件)	1,904	1,680	c	a	4,426	5,094	4,595	110.9%	b
4	地域の景観を形成する核となる建造物等の指定数(件)	44	180	b	b	147	166	166	100.0%	a
5	歴史まちづくり法による道路修景整備地区の無電柱化完了延長(km)	0.31	4.58	e	e	0.00	0	0.458	0%	e
6	景観づくりに取り組む地域数(件)	7	14	b	b	11	12	13	92.3%	b
				c	b					b

施策の客観指標評価		評価		
施策番号	施策名	平成30	令和元	令和2
2201	山紫水明の自然景観の保全(2指標)	b	b	c
2202	品格のある市街地景観の形成(2指標)	c	b	b
2203	歴史的な町並みや京町家等の保全(1指標)	b	b	a
2204	無電柱化等による魅力あふれる道路空間の創出(1指標)	e	e	e
2205	市民とともに推進する景観まちづくり(1指標)	b	b	b
(5施策平均)		c	b	b

政策の客観指標総合評価 (政策の客観指標評価:施策の客観指標評価=1:0.5)	平成30	令和元	令和2
	c	b	b

2-1 市民生活実感評価

番号	設問	評価		
		平成30	令和元	令和2※
1	京都の個性的な町並み景観が守られている。	b	b	-
2	身近に誇りや愛着を持てる町並みや風景がある。	a	b	-
3	京都のくらしや文化を伝えている京町家が継承されている。	b	b	-
4	大通りや歴史的地区から電柱が取り除かれ、美しい公共空間が増えている。	c	c	-
5	三山の山並みなどの自然風景は、美しく魅力がある。	a	a	-
政策の市民生活実感調査総合評価		a	b	-

2-2 政策の重要度(27政策における市民の重要度)

平成30年度		令和元年度		令和2年度※	
順位	%	順位	%	順位	%
12	85.7%	14	81.8%	-	-

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により調査を一時休止しています。

<総合評価>

平成30	B	令和元	B	令和2	B	政策の目的がかなり達成されている
------	---	-----	---	-----	---	------------------

<原因分析>

【客観指標総合評価】

- ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。
☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。

【市民生活実感調査総合評価】

- ☒ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。
☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。

【総括】

・取組の着実な推進を図ったことにより、「地域の景観を形成する核となる建造物等の指定数」の客観指標評価が上がり、客観指標総合評価は昨年度に続きb評価となった。市民生活実感総合評価も高い評価を維持していることなどから、総合的に判断して当該政策の目標は、かなりの程度達成していると考えられる。

今後の方向性の検討

<この政策を構成する施策とその総合評価(客観指標評価+市民生活実感評価)>

施策番号	施策名	総合評価		
		平成30	令和元	令和2
2201	山紫水明の自然景観の保全	A	A	B
2202	品格のある市街地景観の形成	B	B	B
2203	歴史的な町並みや京町家等の保全	B	B	B
2204	無電柱化等による魅力あふれる道路空間の創出	D	D	D
2205	市民とともに推進する景観まちづくり	B	B	B

<今後の方向性>

①山紫水明の自然景観の保全

・「三山森林景観保全・再生ガイドライン」に基づく森林整備の推進や同ガイドラインに沿った許可・協議件数を増やすことにより、樹木の大量枯死や鹿による食害対策といった課題に対応することで、森林環境の保全・形成や良好な森林環境の維持を図る。

②品格のある市街地景観の形成

・景観に関する適合証の交付率向上に向け、建築関係団体との連携による周知、建築確認時での指導などにより、事業者を対象に建築物及び工作物の完了検査受検について周知啓発を行う。
・広告景観の更なる向上を目指し、「屋外広告物等に係る許可件数」について、3年ごとの更新許可を確実に行うよう、未更新者に対する督促を行うとともに、適正に表示されていない屋外広告物についても、引き続き是正指導を行う。

③歴史的な町並みや京町家等の保全

・京都のまちの歴史、文化の象徴ともいえる京町家や大規模邸宅等の景観資産について、景観重要建造物等への指定をより積極的に行い、それらを通じ、京都のくらしや文化を次の世代に引き継いでいく。そのため、景観重要建造物や歴史的風致形成建造物への指定に向けて、関係部署・機関と情報共有を行い、指定建造物候補の所有者に対して、積極的かつ丁寧な説明を行う。
・京町家を次世代に適切に継承していくため、平成29年11月に制定した「京都市京町家の保全及び継承に関する条例」、平成30年度に策定した「京都市京町家保全・継承推進計画」に基づき、地区及び個別の京町家の指定や改修等に対する助成、京町家所有者と活用希望者のマッチング等の取組を進めていく。

④無電柱化等による魅力あふれる道路空間の創出

・景観に配慮すべき地域での無電柱化事業には、1km当たり約9億円という非常に多額の費用を要することから、今後も、国に対し、継続的な予算確保や、補助制度の拡充等を働き掛けていくとともに、円滑な合意形成を進めていく。

⑤市民とともに推進する景観まちづくり

・景観規制に加え、市街地景観整備条例に基づく「地域景観づくり協議会」を活用した住民主体の景観・まちづくりを進めるとともに、景観法に基づく景観整備機構と連携しながら、地域への専門家派遣等の支援を行う。

政策名	22	景観				
指標名	三山森林景観保全・再生ガイドラインに基づく森林整備面積（ha）					
担当部室	都市景観部	連絡先	2 2 2－3 4 7 5			
1 指標の説明						
国有林及び民有林（本市所有林を含む。）における森林景観を保全・再生するために整備した面積						
2 指標の意味		3 算出方法・出典等				
森林の景観を保全する重要な要素となっている国有林及び民有林（本市所有林を含む。）の整備面積を示す指標		出典：事業担当課調べ				
4 数値						
10年後（令和2年度）の目標値	平成24年度評価値 14.18	令和2年度目標値 600.0	根拠 平成23年度から平成29年度までの7年間の実績より、単年度目標値を60haとし、60ha×10年＝600haを目標値とする。			
	前回数値 平成30年度	最新数値 令和元年度	推移	単年度目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	550.4	610.7	60.3ha増	540	令和2年度の目標を達成するために当該年度に達成すべき数値	113.1%
	全国順位	中長期目標				
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	-	600	令和2年度	101.8%	平成23年度から平成29年度までの7年間の実績より、単年度目標値を60haとし、60ha×10年＝600haを目標値とする。	
5 評価基準				6 基準説明		7 評価結果
各年度の単年度目標値に対する達成度が、 a：80%以上 b：60%以上80%未満 c：40%以上60%未満 d：20%以上40%未満 e：20%未満				民有林の整備は、所有者の金銭的な負担の発生や民有地同士の境界等の個別の事情によるところが大きいことを踏まえ、単年度目標値に対する達成度が80%以上の場合を最高のa評価とし、以下20%刻みで設定した。		平成30 令和元 令和2
						a a a

指標名	景観に関する適合証の交付率（％）					
担当部室	都市景観部	連絡先	2 2 2－3 4 7 4			
1 指標の説明						
景観法及び京都市市街地景観整備条例に基づき景観上の制限に適合した計画であると認定を受けた建築物及び工作物のうち、完了検査を行い適合証を交付した建築物及び工作物の割合 ※認定を受けた建築物及び工作物の工事が完了した際、条例により完了届の提出を義務付けており、工事内容が認定内容に相違なければ、適合証を発行している。						
2 指標の意味		3 算出方法・出典等				
自然景観や地域の町並みと調和した建築物及び工作物として適合証を交付した割合を示す指標		算出方法：（適合証交付件数÷認定件数）×100				
4 数値						
10年後（令和2年度）の目標値	平成23年度評価値 52.3	令和2年度目標値 100.0	根拠 すべての建築物及び工作物について、適合証が発行されることが望ましい			
	前回数値 平成30年度	最新数値 令和元年度	推移	単年度目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	58.9	58.9	増減なし	100.0	すべての建築物及び工作物について、適合証が発行されることが望ましい	58.9%
	全国順位	中長期目標				
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	-					
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果		
最新数値の単年度目標値に対する達成度が、 a：70%以上 b：60%以上70%未満 c：50%以上60%未満 d：40%以上50%未満 e：40%未満		必ずしも認定年度に適合証を交付するとは限らないため、単年度目標値に対する達成度が70%以上の場合をa評価とし、以下10%刻みでb～e評価として設定した。		平成30 令和元 令和2		
				C C C		

政策名	22	景観				
-----	----	----	--	--	--	--

指標名	屋外広告物等に係る許可件数（件）					
-----	------------------	--	--	--	--	--

担当部室	都市景観部		連絡先	2 2 2 - 4 1 3 6		
------	-------	--	-----	-----------------	--	--

1 指標の説明

京都市屋外広告物等に関する条例による屋外広告物等の許可件数

2 指標の意味

自然景観や地域の町並みと調和した屋外広告物として許可された件数を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：事業担当課調べ

4 数値

10年後(令和2年度)の目標値	平成23年度評価値	令和2年度目標値	根拠		
	1,904	1,680	複数年（年度の件数集計が可能な平成20～22年度）の平均値		

	前回数値 平成30年度	最新数値 令和元年度	推移	単年度目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	4,426	5,094	668件増	4,595	3年前(平成28年度)の許可件数	110.9%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	-					

5 評価基準

最新数値の単年度目標値に対する達成度が、
a：115%以上
b：105%以上115%未満
c：95%以上105%未満
d：85%以上95%未満
e：85%未満

6 基準説明

・単年度目標値に対する達成度が100%の場合をc評価の中心と設定
・10%刻みでa～e評価

7 評価結果

平成30	令和元	令和2
c	a	b

1 指標の説明

地域の景観を形成する重要な要素となっている建造物について、景観重要建造物及び歴史的風致形成建造物等に指定された数

2 指標の意味

地域の景観を形成する重要な要素となっている建造物の保全数を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：事業担当課調べ

4 数値

10年後(令和2年度)の目標値	平成23年度評価値	令和2年度目標値	根拠		
	44	180	京プラン実施計画 第2ステージ		

	前回数値 平成30年度	最新数値 令和元年度	推移	単年度目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	147	166	19件増	166	中長期目標を達成するために当年度達成すべき数値	100.0%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	-	180件	令和2年度	92.2%	京プラン実施計画 第2ステージ	

5 評価基準

目標値に対する達成度が、
a：100%以上
b：80%～100%未満
c：60%以上～80%未満
d：40%以上～60%未満
e：40%未満

6 基準説明

単年度目標に対する達成度が100%以上の場合をaとし、以下20%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

平成30	令和元	令和2
b	b	a

政策名	22	景観
-----	----	----

指標名	歴史まちづくり法による道路修景整備地区の無電柱化完了延長（km）				
-----	----------------------------------	--	--	--	--

担当部室	道路建設部	連絡先	2 2 2－3 5 7 0	
------	-------	-----	---------------	--

1 指標の説明

地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律（歴史まちづくり法）に基づき策定した「京都市歴史的風致維持向上計画」に記載のある道路修景整備地区での無電柱化完了延長

2 指標の意味

歴史的な町並み景観に配慮した美しい公共空間の創出状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：道路修景整備地区全4地区の無電柱化に係る総事業費と毎年の執行事業費との割合を整備延長に換算して算出（（執行事業費/総事業費）*計画総延長）
出典：事業担当課調べ

4 数値

10年後(令和2年度)の目標値	平成24年度評価値	令和2年度目標値	根拠	
	0.31	4.58	道路修景整備地区無電柱化事業の原則100%実施	

	前回数値 平成30年度	最新数値 令和元年度	推移	単年度目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	0.00	0.00	増減なし	0.458	令和2年度の目標を達成するために当該年度に達成すべき数値	0%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値	-			-	

5 評価基準

単年度目標に対する達成度が
a：80%以上
b：60%以上～80%未満
c：40%以上～60%未満
d：20%以上～40%未満
e：20%未満

6 基準説明

当該指標については、電線管理者や地元の合意形成・協力が必要不可欠であることから、80%以上をa、以下20%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

平成30	令和元	令和2
e	e	e

指標名	景観づくりに取り組む地域数（件）				
-----	------------------	--	--	--	--

担当部室	都市景観部	連絡先	2 2 2－3 3 9 7	
------	-------	-----	---------------	--

1 指標の説明

市街地景観整備条例に基づく地域景観づくり協議会として認定を受けた地域等の数

2 指標の意味

景観を観点としたまちづくりの広がりを示す指標

3 算出方法・出典等

出典：事業担当課調べ

4 数値

10年後(令和2年度)の目標値	平成28年度評価値	令和2年度目標値	根拠	
	7	14	平成26年度末の認定地域数（7地域）から、令和2年度までに倍増（14地域）を目指す。	

	前回数値 平成30年度	最新数値 令和元年度	推移	単年度目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	11	12	1件増	13	令和2年度の目標を達成するために当該年度に達成すべき数値	92.3%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値	-	14	令和2年度	85.7%	

5 評価基準

目標に対する達成度が、
a：100%以上
b：90%以上～100%未満
c：80%以上～90%未満
d：70%以上～80%未満
e：70%未満

6 基準説明

単年度目標に対する達成度が100%以上の場合をaとし、以下10%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

平成30	令和元	令和2
b	b	b